

公益財団法人 谷川熱技術振興基金
平成 23 年度 助成研究実施者募集要綱

1.助成対象研究

工業炉・燃焼装置などおよびこれに関連する装置・部品・材料などの熱技術および
生産技術に関する次の基礎研究ならびにその実用化研究

燃焼技術
エネルギーおよび熱利用技術
環境保全および省エネルギー - 技術
その他の関連技術

2.応募者の範囲

大学・団体・各種研究所など

3.助成金額

平成 23 年度は助成件数約 10 件程度、助成金総額 1,300 万円を予定しております。

4.助成対象研究期間

助成の対象とする研究期間は平成 23 年 10 月より 1 年以内とします。

(研究期間が上記の期間を超える場合は、研究助成金交付申請書の 4.に記載して下さい。)

5.応募方法

(1) 提出書類 研究助成金交付申請書 1 部 (様式 による) を提出願います。

1.研究のテーマ、9.研究の目的については E-mail でも送信願います。

(2) 提出期限 **平成 23 年 7 月 20 日(水) 必着 (締切厳守)**

(3) 提出先および問合せ先 〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-6-20

(公財)谷川熱技術振興基金 事務局

TEL/FAX : 06-6444-2120

E-mail : tanikawafund-0001@yahoo.co.jp

6.選考方法

(1) 研究助成選考委員会で選考いたします。

〔選考委員 50 音順 敬称略〕

委員長	佐藤眞住	(独)物質・材料研究機構 名誉顧問
委員	秋山鉄夫	日本バーナ研究会 会長
〃	岡村清人	大阪府立大学 名誉教授 (株)超高温材料研究センター 技術顧問 (非常勤)
〃	岡本 平	大阪大学 名誉教授
〃	香月正司	大阪大学 名誉教授
〃	架谷昌信	愛知工業大学 特任教授 名古屋大学 名誉教授
〃	平野敏右	東京大学 名誉教授

(2) 選考の過程で、研究計画の詳細について説明をお願いする場合があります。

(3) 選考の結果は、9 月中旬に申請者宛ご連絡するとともに、関係新聞、協会誌などに発表いたします。採用された申請者には、決定通知と助成金交付の手続き書類を送付します。不採用案件につきましては、特に通知しません。

(4) 本財団の研究助成対象範囲に添わない研究テーマでの応募は、選考の対象外となります。また、採否の事由は非公開とし、これに関する問い合わせにはお答えしません。

7.助成金の交付

- (1) 交付の時期および方法は、交付決定時に申請者と協議して定めます。
- (2) 助成金を交付する際には、後記 10.に記載の請書を提出していただきます。
- (3) 交付した助成金については、後記 10.(7)に該当する場合を除き返還の必要はありません。

8.研究成果の帰属

助成研究の実施過程において取得される工業所有権は助成研究者側に帰属します。

なお、研究成果の普及活用を図るとい趣旨から、工業所有権などの実施許諾については協議に応じていただくようお願いします。

9.研究の内容および成果の公表

研究終了後に提出していただく報告書に基づき、当財団の機関誌に発表いたしますので、あらかじめご了承ください。

10.請書の内容

研究助成金の交付の際に、申請者または研究実施者から提出していただく請書の内容は、次のとおりです。

- (1) 研究助成は、「研究助成金交付申請書」記載内容に基づき実施する。
- (2) 助成研究の実施過程において、上記内容を変更する必要がある場合は、速やかに当財団に報告し協議する。
- (3) 助成研究が終了したときは、50日以内に当財団に研究終了報告書を提出する。
- (4) 助成研究の内容および成果について、第一次研究概要報告書を平成 25 年 2 月末迄に提出する。また報告書内容を当財団の機関誌に掲載することを承諾する。
- (5) 助成研究の成果としての工業所有権については、研究成果の普及活用を図るとい観点から、実施許諾について当財団との協議に応ずる。
- (6) 助成研究に関して論文などを発表する場合は、当財団の助成をうけた旨明記する。
- (7) 「研究助成金交付申請書」に記載した研究を実施しなかった場合は、助成金を返還する。
- (8) 帳簿を備え、助成研究に係る経理を他の経理と区別し、当財団から照会があった場合はこれに応ずる。
- (9) 本財団が研究施設への訪問を希望した場合は、可能な範囲で対応すること。

11.その他

過年度に助成対象とならなかった研究について、その進展に伴い再度ご応募いただいても結構です。

また、2 年もしくは 3 年にわたる研究の申請も受け付けますが、助成の採否は年度毎に決定しますので、2 年目 3 年目についてもその都度申請すること。

様式

公益財団法人 谷川熱技術振興基金
研究助成金交付申請書

平成 23 年 月 日

公益財団法人 谷川熱技術振興基金 御中

申請者 所在地 〒 _____

団体名 _____

代表者職氏名 _____ 印

代表者は研究責任者が所属する組織の長とする。
(機関の代表者、学部長、研究所長等)

下記のとおり申請いたしますので、研究助成金の交付をお願いいたします。

1. 研究のテーマ(20字以内)にまとめて下さい。)

2. 研究実施者 所属(学部 学科)、職名、氏名、年令を記入して下さい。(研究責任者にはフリガナをふして下さい。)

研究部署 _____

フリガナ _____

研究責任者 _____ (才)

研究員 _____ (才)

" _____ (才)

" _____ (才)

" _____ (才)

3. 研究実施場所 _____

4. 研究期間 自 平成 年 月 至 平成 年 月

(うち助成対象研究期間 自 平成 23 年 10 月 至 平成 24 年 月)

5. 所要資金総額(明細を7.に記載) _____ 千円

(うち助成金申請額 _____ 千円)

6. 連絡先

所属 _____

職名・氏名 _____

電話番号 () - _____ Fax () - _____

e-mail _____

(注)印刷に際し、用紙サイズはA4とする。提出部数は1部。

7. 所要資金総額（5.の明細）

	品名	数量	所要資金総額 (千円)	内助成金申請額 (千円)	備考
(1) 機 備 械 品 装 費 置 費					
		小計			
(2) 材 消 料 耗 費 品 費					
		小計			
(3) そ の 他					
		小計			
	合計				

(注)1. 「その他」は、外注労務費、国内旅費、通信費、印刷費など。

2. 海外出張旅費は助成の対象外です。

8. 他からの補助金（過去3年間）

本研究または関連研究に対して、他からの補助金・助成金を受けている場合、または申請している場合は、その概要を記載して下さい。

申請年月	決定年月	申請先	研究テーマ	決定額 or(申請額) (千円)

9. 研究の目的（150 字程度をメドに簡潔に記載して下さい。）

10. 研究の概要（250 字程度をメドに概要を解りやすく記載して下さい。）

11. 研究の内容（内容の詳細は別紙（A4 サイズ 1～4 枚程度にまとめて下さい。）に記載し、必要があればフローシート、略図などを添付して下さい。）

添付書類 (1) _____
(2) _____
(3) _____

12. 研究実施者の**主要**研究テーマ、および論文掲載誌名、掲載年月日（過去 3 年間）

13. 国内外における関連研究の概要

14. その他の参考事項

以 上

(ご参考) 敬称略

平成 2 1 年度 (第 29 回) 研究助成金交付先

研 究 責 任 者				研 究 テ ー マ
東 北 大 学	流体科学研究所	准 教 授	石 本 淳	スラッシュ超高熱流束プロセス冷却の研究
東 京 大 学	工学系研究科	助 教	柴 田 直 哉	高温セラミックス粒界の偏析強化機構の解明
横 浜 国 立 大 学	工学研究院	教 授	梅 澤 修	チタン合金の表面改質熱処理技術の開発
新 潟 大 学	自然科学研究科	准 教 授	大 鳥 範 和	分子動力学法によるスラグの熱伝導率評価
静 岡 大 学	工 学 部	助 教	松 井 信	レーザーによる高圧酸素プラズマ源の開発
愛 知 工 業 大 学	総合技術研究所	教 授	渡 辺 藤 雄	多孔体担持型蓄熱材の新規開発研究
三 重 大 学	工学研究科	助 教	西 村 顕	CO ₂ 改質光触媒メンブランリアクター開発
広 島 大 学	工学研究科	准 教 授	福 井 国 博	制御流同伴型サイクロンによる燃焼排ガス浄化装置の開発
愛 媛 大 学	理工学研究科	准 教 授	中 原 真 也	超小型燃焼器の燃焼促進技術の開発
宮城工業高等専門学校	材料工学科	教 授	渡 邊 陽 一	N系マルテンサイトを活用した鋼の高強度化
合 計				1 0 件 1 , 5 5 0 万円

平成 2 2 年度 (第 30 回) 研究助成金交付先

研 究 責 任 者				研 究 テ ー マ
北 海 道 大 学	工学研究院	教 授	鳥 田 敏 宏	高温に耐える無機エラストマーの開発
東 北 大 学	多元物質科学研究所	准 教 授	吉 川 彰	燃焼圧センサ用ランガサイトの形状制御技術
東 京 工 業 大 学	理工学研究科	准 教 授	関 口 秀 俊	超高温型小型過熱水蒸気炉の作成
慶 応 義 塾 大 学	理 工 学 部	教 授	小 茂 鳥 潤	構造用鋼の超微細結晶化熱処理技術の開発
福 井 大 学	工学研究科	教 授	荻 原 隆	パルスジェット衝撃ナノ粒子合成法の開発
名 古 屋 大 学	工学研究科	助 教	小 林 信 介	ケミカル・ルーピングプロセスにおける酸素担体の開発
名 古 屋 大 学	エコトピア科学研究所	助 教	植 木 保 昭	O ₂ -CO ₂ 雰囲気凝結材燃焼挙動の解明
豊 橋 技 術 科 学 大 学	工学研究科	准 教 授	戸 高 義 一	Ga,Ag 添加 Mg ₂ Si 系熱電材料の開発
京 都 大 学	工学研究科	助 教	大 下 和 徹	燃焼を中心とした畜産廃棄物の再資源化
大 阪 大 学	接合科学研究所	准 教 授	小 林 明	高効率・高機能 SiC 系熱電素子の開発
合 計				1 0 件 1 , 3 0 0 万円